

2020年度第3回理事会報告

開催日時:2020年7月18日(土) 10:00 ~ 12:00

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、木原活信会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて木原会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2020年度第3回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として木原会長、秋元監事、和気副会長を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より資料に基づき説明があった。審議の結果、19名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2020年度第一次補正予算案について

財務担当室田理事より、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を反映した補正予算案を作成したとの説明があった。配布資料に基づいて詳細を確認し、審議した結果、2020年度第一次補正予算案が満場一致で承認された。

第3号議案 研究支援委員会(旧:若手・女性研究者のための支援検討委員会)規程変更について

研究支援委員会担当保正理事より、「若手・女性研究者に対する支援検討委員会」から「研究支援委員会」と委員会名称を変更したのに伴い、委員会規程を変更するとの説明があった。審議の結果、研究支援委員会規程の改正が満場一致で承認された。

第4号議案 第68回秋季大会E-ポスター査読分担について

研究担当岩崎理事より、オンラインで開催する第68回秋季大会の準備状況について配布資料に基づき説明があった。E-ポスターを発表分野別にとりまとめ、全国理事で分担して査読する旨の提議があり、審議の結果、満場一致で承認された。今回は要約筆記を全企画に導入することとし、当日の登壇者も含めて事前にウェビナーでの開催シミュレーションを行う予定である。

第17回日本社会福祉学会フォーラムは、倉田担当理事および関西地域ブロックを中心に検討が

進められている。開催時期は2021年2月～3月を予定している。

第69回春季大会は、第68回秋季大会と同じくウェビナーを用いたオンライン開催を前提として検討する。

第5号議案 GEAHSS担当者の追加および幹事学会持ち回り制について

GEAHSS担当保正理事より、第7期のGEAHSS担当の追加候補者として、研究支援委員会の高良麻子会員の推薦があり、審議の結果、満場一致で承認された。

GEAHSS幹事学会の持ち回り制について協議し、幹事学会担当を受けても良いという回答をすることが、満場一致で承認された。

第6号議案 その他

その他の審議事項は特になし。

IV. 報告事項

1. 2020年度会員動向

総務担当木下理事より、入会申込者数、現在の会員数および退会希望者数の報告があった。また、年会費の納入状況および納入率を確認した。新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度に限り学生の年会費免除申請(6月30日締切)を受け付けたところ、100名超から申請があったとの報告があった。

2. 2020年度定時社員総会報告

総務担当木下理事より、2020年度定時社員総会の報告があった。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当岩崎理事より第4号議案にて報告済みである。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当柴田理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配布資料に基づき報告があった。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の和気副会長より、日中韓三か国会長会議をオンライン開催したとの報告があった。「韓国・中国・日本における研究交流の推進に関する覚書」について、三か国で詳細を検討して、今秋に更新することを確認した。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当岩井理事より、2020年度学会賞の審査経過および授賞作について配布

資料に基づき報告があった。学会賞事業要綱より審査対象や受賞資格をあらためて確認したうえで、今年度の学会賞授賞が満場一致で承認された。授賞者および授賞作は以下の通りである。

-----*-----

学術賞(単著部門):鈴木 浩之『子ども虐待対応における保護者との協働関係の構築
——家族と支援者へのインタビューから学ぶ実践モデル』明石書店
奨励賞(単著部門):大嶋 栄子『生き延びるためのアディクション
——嵐の後を生きる「彼女たち」へのソーシャルワーク』金剛出版
奨励賞(論文部門):該当者なし

-----*-----

今年度の学会賞授賞式は、秋季大会二日目である9月13日(日)の第68回秋季大会開会式に引き続いて執り行うことを確認した。

7. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当伊藤理事より、7月初旬にホームページで公開された学会ニュース84号および今年度の委員会事業遂行計画について報告があった。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当空閑理事より、元村委員長を中心として、昨年度の活動状況を踏まえ、今年度の活動方針を定めていく予定であるとの報告があった。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当保正理事より、今年度の委員会の方向性として検討している若手会員のネットワーク化および会員のニーズ調査の実施について、配布資料に基づき説明があった。

11. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック:感染症の影響により延期となっていた総会および大会を7月10日にオンラインで開催し、「コロナ誤作動」というテーマで講演を実施した。
- ・東北地域ブロック:前年度決算および今年度の事業方針等について、ニューズレターで会員に周知予定である。2020年度研究大会は1年延期し、設立60周年記念論文集等の企画を検討中である。
- ・関東地域ブロック:感染症の影響により第1回運営委員会の開催を7月末に延期した。例年3月に開催している研究大会はオンラインでの開催となる予定である。関東地域ブロック独自の研究大会奨励賞を設けているが、近年該当者がいないことから、機関誌に掲載された論文も授賞の対象とすることを検討している。
- ・中部地域ブロック:2020年度総会等の開催は感染症の影響によりメール開催となった。幹事会を

開催し、総会議案の承認および今年度の活動方針について協議した。機関誌『中部社会福祉学研究』第11号を発行し、現在第12号の原稿募集中である。

- ・関西地域ブロック：前期最後の理事会にて、感染症の影響により中止した総会議案および今年度の活動方針等について協議した。昨年度、開催中止となった第47回若手研究者・院生情報交換会の開催準備を進めている。第17回フォーラムを2020年度年次大会と同日に開催する方向で検討しており、フォーラム担当倉田理事と協議をしながら準備を進めていく予定である。
- ・中国・四国地域ブロック：新役員体制となり事務局も変更したが、感染症の影響により引継ぎが遅れている。ブロック大会の開催は、岡山大会として延期開催する。
- ・九州地域ブロック：感染症の影響により総会を書面表決にて実施した。例年6月に実施している研究大会は開催中止となったが、現在、会計等の事後処理を行っている。8月に機関誌への論文投稿募集を予定通り行うこととしている。

12. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

・後援（協賛）依頼について

総務担当木下理事より、運営委員会にて協議し、1件の協賛依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

室田理事より、2020年度総会は書面表決にて実施したとの報告があった。

加盟学会を対象とした補助金制度を設けており、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑みて、補助の対象を「外部の講師を招く際の旅費交通費の一部」から「必要な費用の一部」に拡げることとしたとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

和気副会長より、7月7日に開催された全体会議の報告があり、児童福祉関連の専門職の創設に関する国および国会議員への働きかけ等が協議されたとの説明があった。

3) 社会政策関連学会協議会

報告事項は特になし。

4) 社会学系コンソーシアム

総務担当木下理事より、7月に理事会を開催予定であるとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会：GEAHSS（ギース）

GEAHSS担当保正理事より第5号議案にて報告済みである。

議長は、議事終了を告げ、12時00分に理事会を解散した。

以上